

**製品名: Hox-A7 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab12169**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	25kDa

**抗原情報**

遺伝子名	HOXA7
別名	HOXA7; HOX1A; Homeobox protein Hox-A7; Homeobox protein Hox 1.1; Homeobox protein Hox-1A
遺伝子 ID	3204.0
SwissProt ID	P31268
免疫原	抗血清はヒト HOXA7 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 91-140

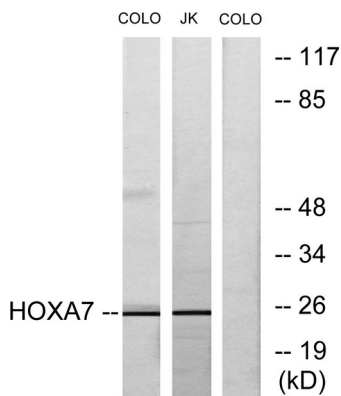
**背景**

脊椎動物では、ホメオボックス遺伝子と呼ばれる転写因子群をコードする遺伝子は、4本の染色体上の A、B、C、D というクラス

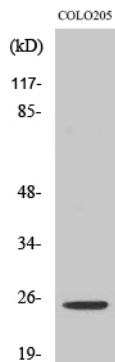
ターに存在します。これらのタンパク質の発現は、胚発生において空間的および時間的に制御されています。この遺伝子は 7 番染色体上の A クラスターの一部であり、遺伝子発現、形態形成、および分化を制御する可能性のある DNA 結合転写因子をコードしています。例えば、このタンパク質はケラチノサイトの増殖中に分化特異的遺伝子の転写を抑制しますが、この抑制は分化シグナルによって解除されます。この遺伝子は、ショウジョウバエのアンテナペディア (Antp) 遺伝子と非常に類似しています。 [RefSeq 提供、2008 年 7 月]、機能:細胞に前後軸上の特定の位置的アイデンティティを提供する発達制御システムの一部である配列特異的転写因子。、類似性:Antp ホメオボックスファミリーに属します。、類似性:1つのホメオボックス DNA 結合ドメインを含みます。、

## 研究分野

## 画像データ



HOXA7 抗体を用いた COLO205 細胞および Jurkat 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



Hox-A7 ポリクローナル抗体を使用したさまざまな細胞のウェスタン ブロット分析。